

第 76 回放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 27 年 11 月 16 日 (月曜日) 午後 4 時 00 分～午後 5 時 00 分

2. 開催場所 エフエム世田谷 会議室

3. 出席者

委員総数	5名
出席委員数	5名
友成 哲郎	委員長
小林 憲夫	委員
張 晶子	委員
古谷 真一郎	委員
斎藤 重男	委員

放送事業者側出席者	5名
代表取締役社長	田中 茂
第2事業部長	成田 修
エフエム世田谷担当課長	幸田 雅夫
エフエム世田谷担当係長	渡辺 稜子
エフエム世田谷	山下 鮎美

4. 議題 災害時 (大雨警報発令時) 緊急放送
平成 27 年 9 月 9 日 (水) 午後 5 時 30 分～午後 8 時 30 分
放送分より一部抜粋

5. 議事の概要

- (1) 放送局側からの審議番組の説明
- (2) 当該番組の試聴
- (3) 出席委員による当該番組の審議
- (4) 関連事項について出席者全員での意見交換
- (5) その他

6. 審議内容

定刻、事務局より委員総数 5 名のうち 5 名が出席しているため、放送番組審議会の規定により本日の審議会が正式に成立する旨を報告したのち、委員長に議事進行を依頼した。委員長の開始宣言に続き、委員長の指示により事務局が審議内容の説明を行った。

(1) 番組概要

〈番組名〉 災害時（大雨警報発令時）緊急放送
平成27年9月9日（水） 午後5時30分～午後8時30分
放送分より一部抜粋

〈出演者・担当ディレクター〉 藤咲あかね・渡辺稜子・山下鮎美

〈番組内容〉

区民の皆様への災害時の迅速な情報提供は、エフエム世田谷開局第1の目的であり、日頃からの世田谷区広報広聴課および災害対策課との連携により、警報が発令された場合は即時緊急対応を行う体制を整えている。この度の審議会では、本年9月、茨城県常総市等で大きな被害を出した大雨警報発令時のエフエム世田谷の緊急放送を審議対象とした。

〈制作〉 株式会社世田谷サービス公社 第2事業部 エフエム世田谷

(2) 審議対象放送内容

災害時（大雨警報発令時）緊急放送
平成27年9月9日（水） 午後5時30分～午後8時30分
放送分より一部抜粋

7. 審議における委員の主たる意見、質疑は次のとおり

審議委員

- ・アナウンスの順番を工夫してもらえるとよりわかりやすいのでは？
例) 電車は、異常がある路線を一通り紹介してもらってから、詳細を伝える
- ・スタジオ常設のマニュアルがあるという事だが、内容を定期的に見直すことも必要なのでは。
- ・緊急放送時、併せて局のHPからも区の「ハザードマップ」等、必要なページにリンクを張るのはいかがでしょうか。
- ・情報の信頼性、の基準はあるのか？
- ・「災害時」というくくりが大きすぎないか？「防災」と「災害」をより明確に区別して情報を伝える必要があると思われる。
- ・停電になった場合、エフエム世田谷の対応は？
- ・緊急時の担当者、対応フローはできているのか？

事務局

- ・アナウンスの順番を工夫することは必要だと思うので検討したい。
- ・特派員から情報をいただくことも多いので、今後積極的に取り組んでいきたい。
- ・区からの公式発表を待って放送、を基準としているが、公式発表前の区からの事前情報をもとに「第一報」として放送することもある。
- ・迅速に第一報を入れることももちろん重要だが、エフエム世田谷では必要な情報を一定期間反芻して情報を伝え続けることもより重要だと考えている。
- ・世田谷区の災害対策課へも意見を取り上げて、協議したい。
- ・3月までは体制が整っていなかったが、4月からは1週間ごとにアナウンサーに待機、緊急時は駆けつけて放送をしてもらう契約を交わしている。

- ・「防災」という意味では、平日 17：30～の「防災インフォメーション」という番組もある
- ・エフエム世田谷はマスター室にUPSで2時間、以後は発電機を回して電気の確保が可能。

・次回は2016年1月25日（月）16：00～17：00 予定

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法：自社ホームページ (<http://fmsetagaya.com/>) への掲載

公表の内容：上記議事録の通り

公表年月日：2015年12月31日（木）予定

以上